

件名 **市民福祉大学事例発表** 3月30日（水） 岩国市社会福祉協議会

令和3年度岩国市社協主催の市民大学講座（テーマ：住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくり）がシンフォニア岩国で開催され、市内各地区社協より多くのご参加を頂く中、当愛宕地区社協の藤本正臣会長が「移動販売車導入」に当たっての活動事例発表を行いました。

以下、発表の概要をご報告いたします。

現在、愛宕地区では7自治会、10か所で移動販売を行っておりますが、当初から順風万般というわけではありませんでした。従って、発表の内容は移動販売車導入に至るまでのプロセス（流れ）について説明しました。

プロセスの中でのキーポイントは、市社協が行った愛宕地区の「あなたの困りごとについてのアンケート調査」を「サロンの世話役さん」が行なったことでした。その内容はバスの便が悪く、通院とか、買い物に困っているという切実な意見が大変多くあり、令和2年10月20日に行った会議において、市社協から「困りごとアンケート調査の結果報告と、移動販売の情報提供」があり、この説明を聞いた福祉対策部長は即・持ち帰って、移動販売車のオーナーの方に連絡を取り話しが成立し、同年12月9日牛野谷の錦南地区において移動販売車導入第1号ということになりました。

移動販売車は買い物をする便利さだけでなく、買い物同士で笑顔や会話も生まれ、新しい「ふれあいの場」、「通いの場」として、また、団塊の世代がこれから後期高齢者の仲間入りをしていく中で、こうした取り組みは今後ますます重要になってくるのではないかと実感しています。

今後とも、市及び市社協、包括支援センター等からの情報提供やご助言をいただきながら、より充実したものにしていき、今後少しでも地域住民の方々のお役に立てればと思っています。

移動販売車の導入にあたり、辛抱強くまた熱心にご指導いただいた市及び市社協の方々、多大なご尽力をいただいた自治会長さんをはじめ「移動販売車とくしまる号」オーナーの方にお礼を申し上げ事例発表を終了します。



事例発表する藤本会長